

① 新人教育

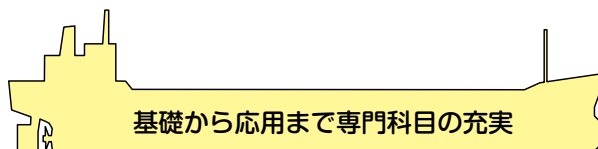
1-1 海上技術コース（航海専修・機関専修）

海上技術短期大学校において修得した航機両用教育の知識を基に、2年間で船員としての更なる資質の向上を図るとともに、船舶運航管理者に必要な基礎知識・技能の習得を目標としたコースです。

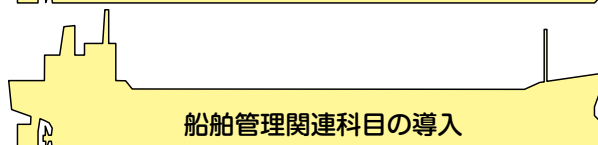
▶ コースの特長



船舶職員として
更なる資質の向上



船舶運航管理者に必要な
基礎知識・技能の習得



▶ 入学資格

海上技術短期大学校を卒業された方（平成6年以降に海員学校の専修科を卒業された方を含む）

▶ 修業期間

2年

▶ 修学方法

海上技術短期
大学校
専修科(2年)
卒業



四級海技士
(航海及び機関)の
免許取得が可能



海技大学校
海上技術コース(専修) 2年
①座学 1年6か月
②乗船実習 6か月

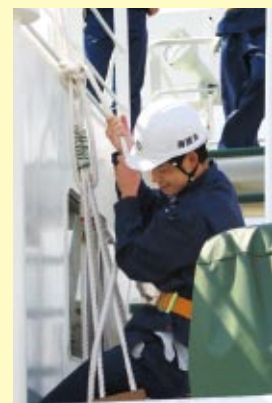
卒業後

口述試験受験
三級海技士
(航海又は機関)
の免許取得!

▶ 卒業後の特典

三級海技士（航海又は機関）の国家試験のうちの筆記試験が免除されます。
乙種危険物等取扱責任者資格（希望者のみ）の取得

「座学」と「実習」を
効果的に組み合わせ
実践力を養います



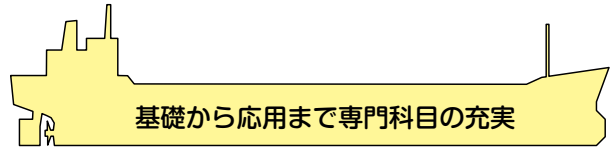
1-2 海上技術コース（航海・機関）

海上技術学校における航機両用教育を基にプロフェッショナルな職業意識・能力を養い、2年間で船員としての更なる知識・技能の向上と三級海技士の免許を取得することを目標とします。

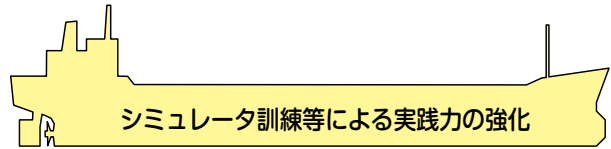
▶ コースの特長



船舶職員として
更なる資質の向上



プロとしての
職業意識・能力の涵養



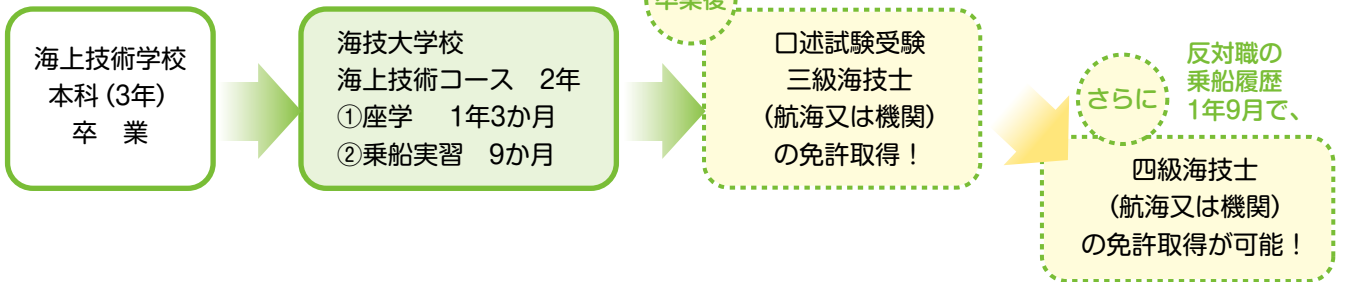
▶ 入学資格

海上技術学校を卒業された方（平成5年以降に海員学校の本科を卒業された方を含む）

▶ 修業期間

2年

▶ 修学方法



▶ 卒業後の特典

三級海技士（航海又は機関）の国家試験のうちの筆記試験が免除されます。

第一級海上特殊無線技士免許（航海コースのみ）、乙種危険物等取扱責任者資格（希望者のみ）の取得

シミュレータ訓練は、
達成目標に合わせた
訓練が可能です



機関室シミュレータ訓練



GMDSSシミュレータ訓練



タグシミュレータ訓練

海技者への 新たな道

優秀な人材を安定的に確保するシステム

海技大学校の取り組み

- 通信教育制度の導入* (自社で業務を行いながらの学習が可能)
- 実習・訓練を効果的にミックス→シミュレータや実機を使用し、少人数で実践的な学習
- 乗船履歴の付与 →航海訓練所及び社船実習*
- 卒業後、海技資格の取得(筆記試験免除)

※海上技術コース(専攻)のみ

1-3 海上技術コース (航海専攻・機関専攻)

船員教育機関以外の大学・短大等を卒業して海運会社に雇用されている方を対象に、三級海技免許の取得及び即戦力となる海技者を養成します。

このコースでは、通信教育を併用するとともに社船での乗船実習が可能です。

▶ 入学資格

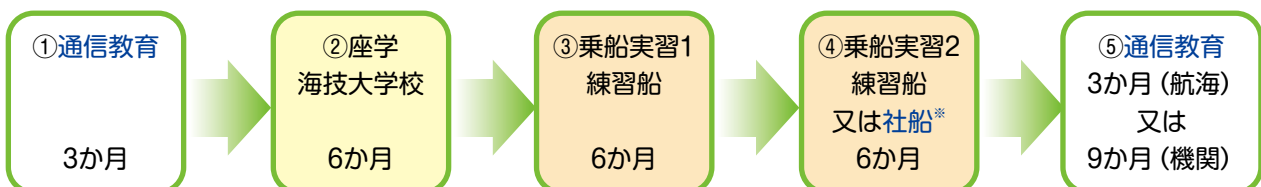
海運会社に雇用されている方(内定者を含む)であって、船員教育機関以外の大学・短大・高専等の卒業者

▶ 修業期間

航海専攻→2年
機関専攻→2年6か月

▶ 修学方法

「通信教育」、「座学」及び「乗船実習」の組み合わせ。
座学期間中は小型練習船やシミュレータ及び各種訓練機材を活用し、実践的な授業を行います。



※条件付

1-4 海技士コース（六級航海専修）

船員教育機関以外の高等学校等を卒業して海運会社に雇用されている方等を対象に、内航船舶職員となるために必要な教育訓練を実施します。
教育スタイルは座学1.5か月と、練習船実習2か月の効果的な組み合わせです。

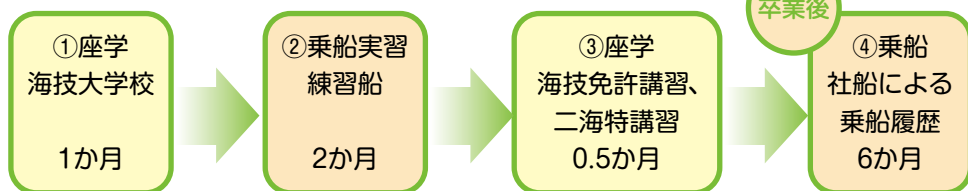
▶ 入学資格

内航海運事業者には雇用されている方（内定者を含む）であって、

- ①船員教育機関以外の高等学校卒業生
- ②入学年度の前年度までに18歳に達した方で、高等学校卒業者と同等と認められた方

▶ 修学方法

課程修了後は単独当直が可能！



□在学中に六級海技士（航海）にかかる「海技免許講習」及び「第二級海上特殊無線技士講習」が受講できます。

▶ 卒業後の特典

総トン数700トン未満の船舶において航海当直が可能となり、6か月の乗船履歴の後、六級海技士（航海）の受験資格が得られます。

1-5 外航基幹職員養成コース（航海・機関）

船員教育機関の卒業生を対象としたコースで、外航商船での訓練や実務経験を通して、即戦力として活躍できる船員を育成します。国土交通省の補助金を受けた外航日本人船員の確保・育成プロジェクトの一部として行われています。

▶ 入学資格

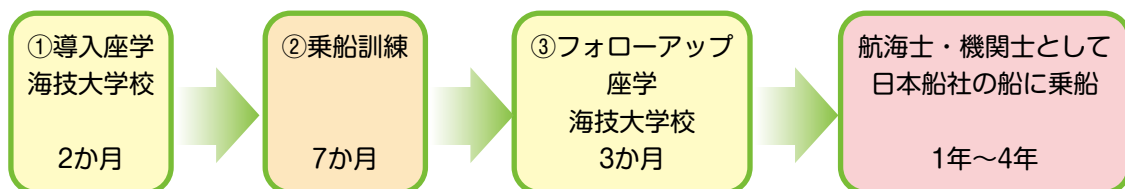
出願年度の10月1日時点で、三級海技士国家試験（口述試験）の受験資格を有する方。なお、航海コースは乗船訓練開始までに、第一級海上特殊無線技士の資格が必要となります。

▶ 訓練期間

最長5年

▶ 修学方法

導入研修期間 ①導入座学→航海士・機関士実務の基礎、安全教育等
②乗船訓練→研修生として日本船社の船に乗船
③フォローアップ座学→実務に関する理解の深度化
乗船育成期間 航海士・機関士として日本船社の船に乗船



□育成期間を通じてSECOJによる指導・評価及び就職斡旋により、外航船員（海技者）として早期就職を目指します。